

2023年度 事業計画書

I. 放送関係の各種事業の企画と実施、学会、講座、コンクール等への協力

1. 全国放送教育研究会連盟・NHK主催の第70回NHK杯全国高校放送コンテスト
(講師・審査員として協力、協会賞贈呈)
2. 協会及び協会員主催による作家育成(放送作家・脚本家含む)を目的としたセミナーの実施
 - ・セミナー「藤森いずみ脚本塾」
 - ・NHK後援「創作テレビドラマ大賞」公開講座
「創作ラジオドラマ大賞」公開講座他

II. 未来を担う若手脚本家の発掘と育成

- 「創作ラジオドラマ大賞」脚本公募
(共催: NHK 後援: 放送文化基金)
- 「創作テレビドラマ大賞」脚本公募
(共催: NHK 後援: NHKエンタープライズ、放送文化基金)

III. 協会の広報活動

1. 協会及び協会員の活動を紹介するホームページとSNSの維持・管理・更新
2. 協賛団体(株)EDIT運営のサイトMonjaにて会員リレーコラムを毎週日曜に掲載
3. 「放送作家の番組証言アーカイブ」を協力団体としてサポート

IV. 放送文化の向上に寄与した団体および個人の表彰

[功労者顕彰]

海老原 靖芳、川崎 良、木下 眞邦、小菅 俊男、関根 俊夫、坂内 馨一
山口 克久、伊藤 正浩、上杉 一紀、吉本 椎葉、町田 孝三郎、永田 昭治
盛多 直隆

VI. その他の活動

- ・「西の正倉院みさと文学賞」への協力
2022年度に引き続き、宮崎県美郷町が主催する文学賞の運営(主に審査・パブリシティ)に協力する。
- ・「市川森一・藤本義一記念 東京作家大学」への協力
平成27年4月に開講した作家養成スクール「東京作家大学」のカリキュラム作成/講師招へい業務に協力(運営母体の株式会社 大阪教育研究所は賛助)

会員として日本放送作家協会の運営維持に協力)。9年目は5月に開講。
渋谷校、横浜校、大宮校にて実施。オンライン講座も強化している。
(活動内容については東京作家大学HPを参照してください)

Ⅶ. 支 部

(1)関西 (2)中部 (3)九州 (4)北海道 (5)中国

各支部とも管内における文化事業への参加、協力、地域高校等の校内放送関係事業の支援等、それぞれ支部の特殊性に応じて実施

(1) 関西支部

1) 心齋橋大学 第37期生の開講

関西支部の放送作家が中心となって講師を務める「心齋橋大学」の37期生を募集して開講する。

リモートによる授業も充実させ、新たな講座開講にも取り組む。

2) YouTube「がらがらがっしょん」の制作

2022年度に引き続き、関西で活動する放送作家、ディレクターなどの経歴や活動内容を紹介する動画を制作。関西支部の認知度アップを目指し、新たな会員の獲得を狙う。

3) 放送作家によるトークイベントを開催

「ぶっちゃけトーク」に代わる新たなトークイベントを開催し、放送作家の交流を図り、新たな会員の獲得を目指す。

4) 作家協会の会員への仕事を斡旋

協会に加盟するメリットを示すため、会員への仕事の紹介や 業界の情報などを共有できるシステムづくりを目指す。

(文責：谷口隆三)

②中部支部

1) 中部テレビ大賞の実施

昨年25回目を迎えた「中部テレビ大賞」。

30歳以下の若手ディレクターが制作した作品を対象とした形式に変更して今年で6回目を迎える。

地元の放送局界限では、若手の登竜門的なコンクールとして定着しつつあり、中部テレビ大賞を目指して制作に励むディレクターもいるという。

例年20本ほどの作品が出品され、中部支部のメンバーが7月に2日ばかりで審査を行うが、今年度から外部の制作者や経験者なども参加してもらい、より幅広い視点から作品を審査することも検討している。

受賞した作品は、9月(予定)に上映会と表彰式を行う。

2) リレーエッセイの継続

昨年春から、HP上にリレーエッセイの掲載を始めた。

リレーと言ってもワンテーマでつないでいくのではなく、支部メンバーそれぞれが様々なテーマで書き綴っていく。

毎月掲載しており、今年度も継続していきたい。

3) スキルアップ講習会の実施

毎年、各界から第一人者を招き、支部メンバーのスキルアップを図るべく講習会を行ってきた。

ここ2年ほどは、新型コロナの影響もあり実施が難しかったが、本年度から2～3か月にごとに開催するなど、より一層拡充を図っていきたい。

4) HPの製作

諸般の事情により、これまでのHPをいったん閉鎖。

4月からメンバーを中心にHPの刷新を図るべく制作をスタートさせる。

事務局新スタッフとして、梶田明子(事務局長) 加藤紀子が就任

支部長 柳瀬元志 会計 亀子美穂は留任

(文責:柳瀬元)

(3)九州支部

- 1) 従来より開催している放送シナリオ講座の継続。講師陣は支部会員若干名。(日本放送作家協会九州支部&西日本新聞TNC文化サークル・アイ&カルチャ天神共催)
- 2) シナリオコンクール「第17回南のシナリオ大賞」の運営、ならびに大賞入選作品のウェブ・ドラマ化およびインターネット配信(1年間公開)。
- 3) 支部会員主宰による演劇活動の展開(支部会員の書き下ろし脚本をもとに福岡市内の劇場で演劇を公演する)。
- 4) 支部ホームページの継続的運営。
- 5) 支部運営のための定期的ミーティングを開催(年二回を)予定)。
- 6) そのほか支部活性化のための事業を適宜、採択する。

(文責:盛多直隆)

(4)北海道支部

- 1) 高校生の放送活動への支援と協力
 - ①NHK杯全国高校放送コンテスト石狩大会の後援および審査員の紹介
 - ②NHK杯全国高校放送コンテスト北海道大会の後援および審査員の紹介
 - ③北海道高等学校文化連盟放送コンテスト石狩大会の後援および審査員の紹介
 - ④北海道高等学校文化連盟放送コンテスト全道大会の後援および審査員の紹介
- 2) 新人作家の養成・発掘のための支援と協力
- 3) 北海道内放送関連の文化事業への協力と参加
- 4) 北海道支部ホームページの充実
- 5) 「北海道シナリオ撰集・2024」の刊行

(文責:伊藤正浩)

(5)中国支部

- 1) 新会員の獲得

昨年度は久しぶりに新会員、しかも3名の入会を得ることができました。今年度も引き続き支部の基盤を作るため、新会員の獲得に力を入れます。

2) 「中国・四国支部」設立への取組み

昨年度の新入会員として、愛媛松山市在住の榊形浩人氏を迎えました。中国支部として初めての四国在住会員です。同氏入会を機に四国在住の会員候補者への勧誘を進め、支部活動エリアを拡げていきたいと思ひます。

3) 地域メディアとの連携

中国・四国地方の放送局、ケーブル局に声掛けし、「地域発ドラマ」、「地域発ドキュメンタリー」といった地域での放送活動の連携を提案します。

特に「地方の時代映像祭」等での受賞歴を持つ放送局と交流を図り、その制作ノウハウを学ぶとともに、連携して活動していくことを考えてみたいと思ひます。

4) 新人放送作家発掘への取組み

昨年度に引き続き、演劇界(劇作家)への声掛けにより、「放送」や「演劇」というジャンルを超えた活動の提案をしていきます。その中で放送作家としての活動を目指す人への支援をしていきます。

また、メディア学科のある大学、放送コンテスト受賞歴のある高校等と支部がコラボして、新たな創作活動や作家としての人材育成の提案をしていきます。

5) ホームページの立ち上げ

支部の中で唯一ホームページを持たないので、立ち上げを目指します。

(文責:野津聖治)

VIII. 運営

- 1.財産の安定 収支の安定均衡を図るため、事務局機能のより一層の能率化を目指す

2023年3月31日

一般社団法人日本放送作家協会
理事長 内村宏幸